

第2部

調査結果の概要

1. 地域のこと

< 住んでいる地域への評価 >

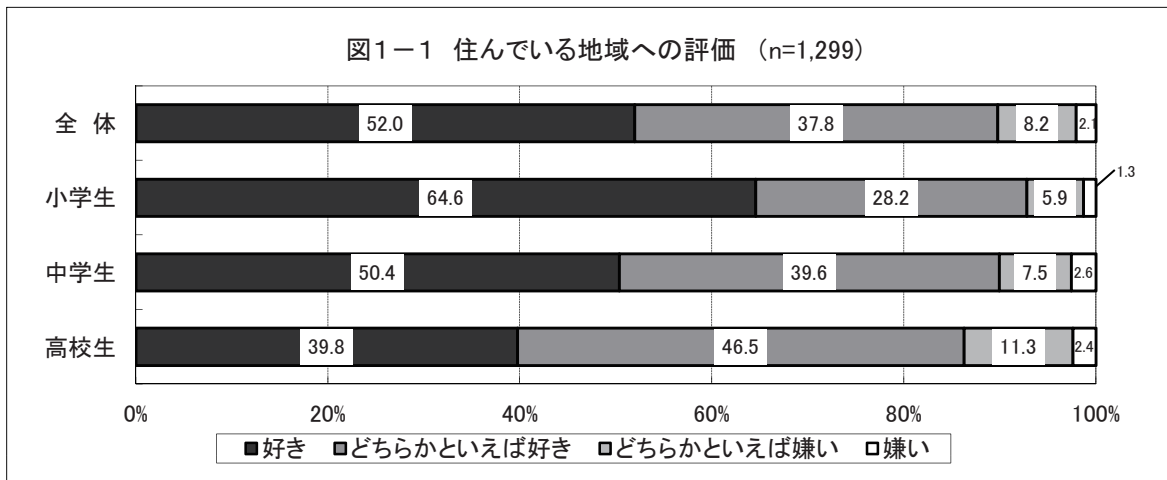
問2 あなたは、あなたが住んでいる地域が好きですか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

住んでいる地域が好きかどうか尋ねたところ、「好き」が52.0%で最も高い。「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は、89.8%となっている。

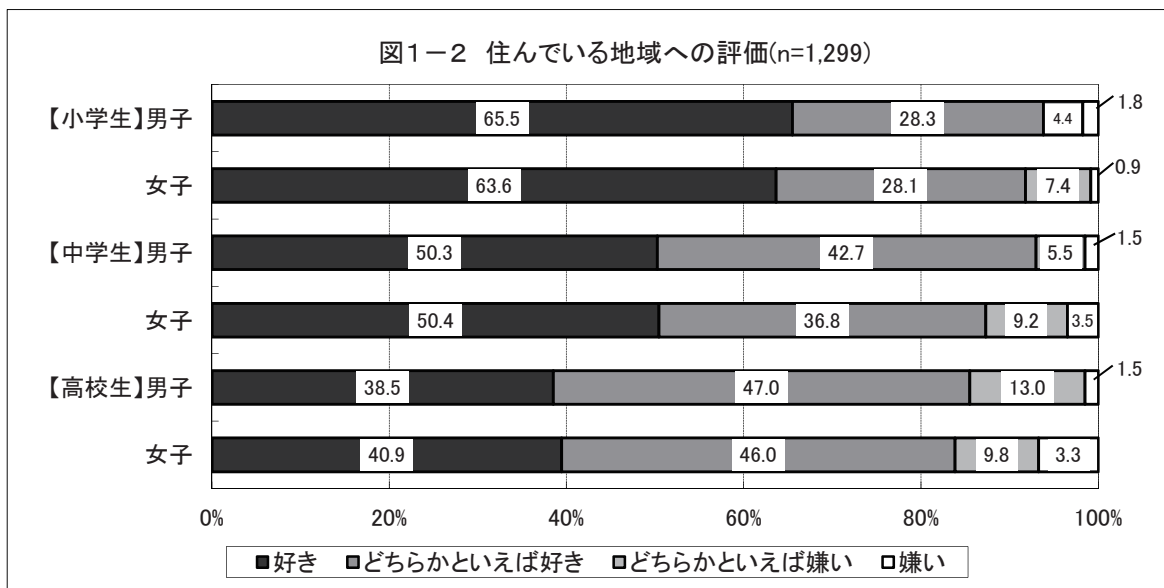
【学校種別集計結果】

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』を見てみると、小学生が92.8%で最も高く、以下、中学生(90.0%)、高校生(86.3%)となっている。



【属性別集計結果】

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』を見てみると、小学生男子が93.8%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりもポイントが高い。



< 地域の大人へのあいさつ >

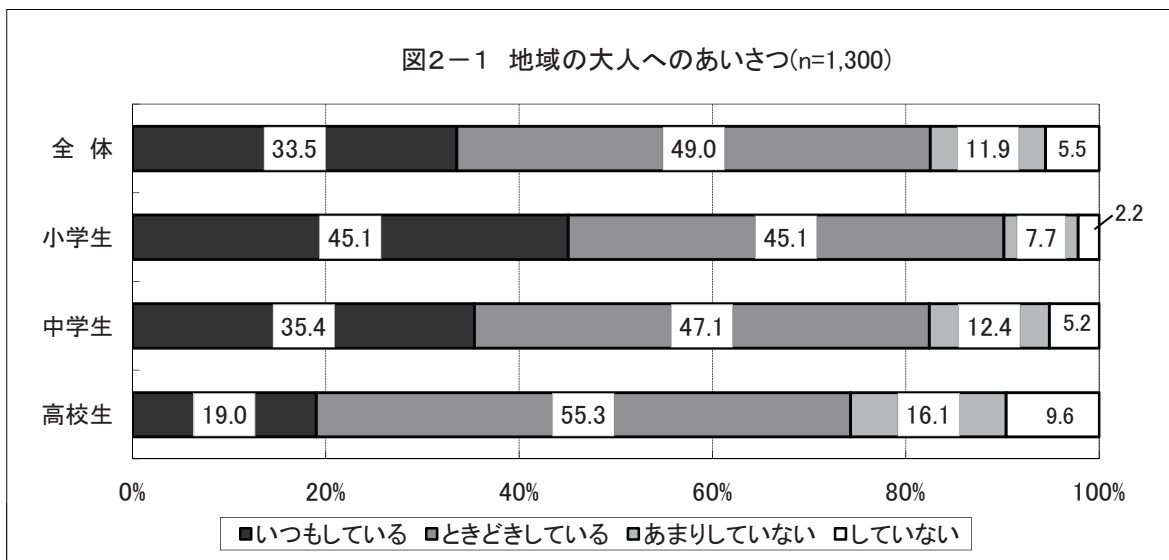
問3(1) あなたは、あなたが住んでいる地域の大人にあいさつをしていますか。
1つ選んでください。

【全体集計結果】

地域の大人にあいさつしているかどうか尋ねたところ、「ときどきしている」が49.0%で最も高い。「いつもしている」と「ときどきしている」を合わせた『している』は、82.5%となっている。

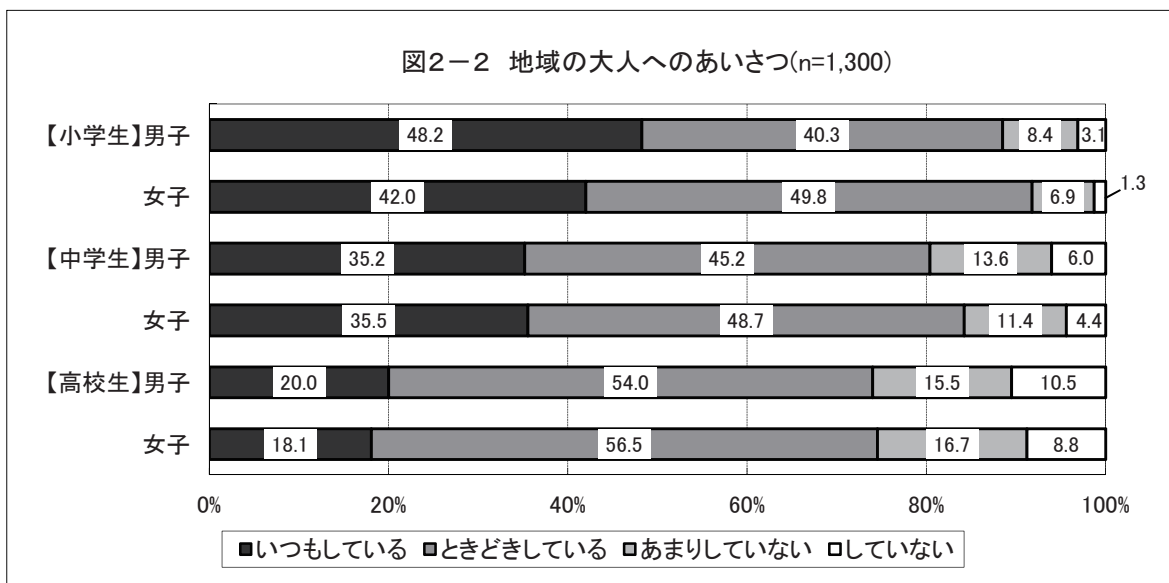
【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、小学生が90.2%で最も高く、以下、中学生(82.5%)、高校生(74.3%)となっている。



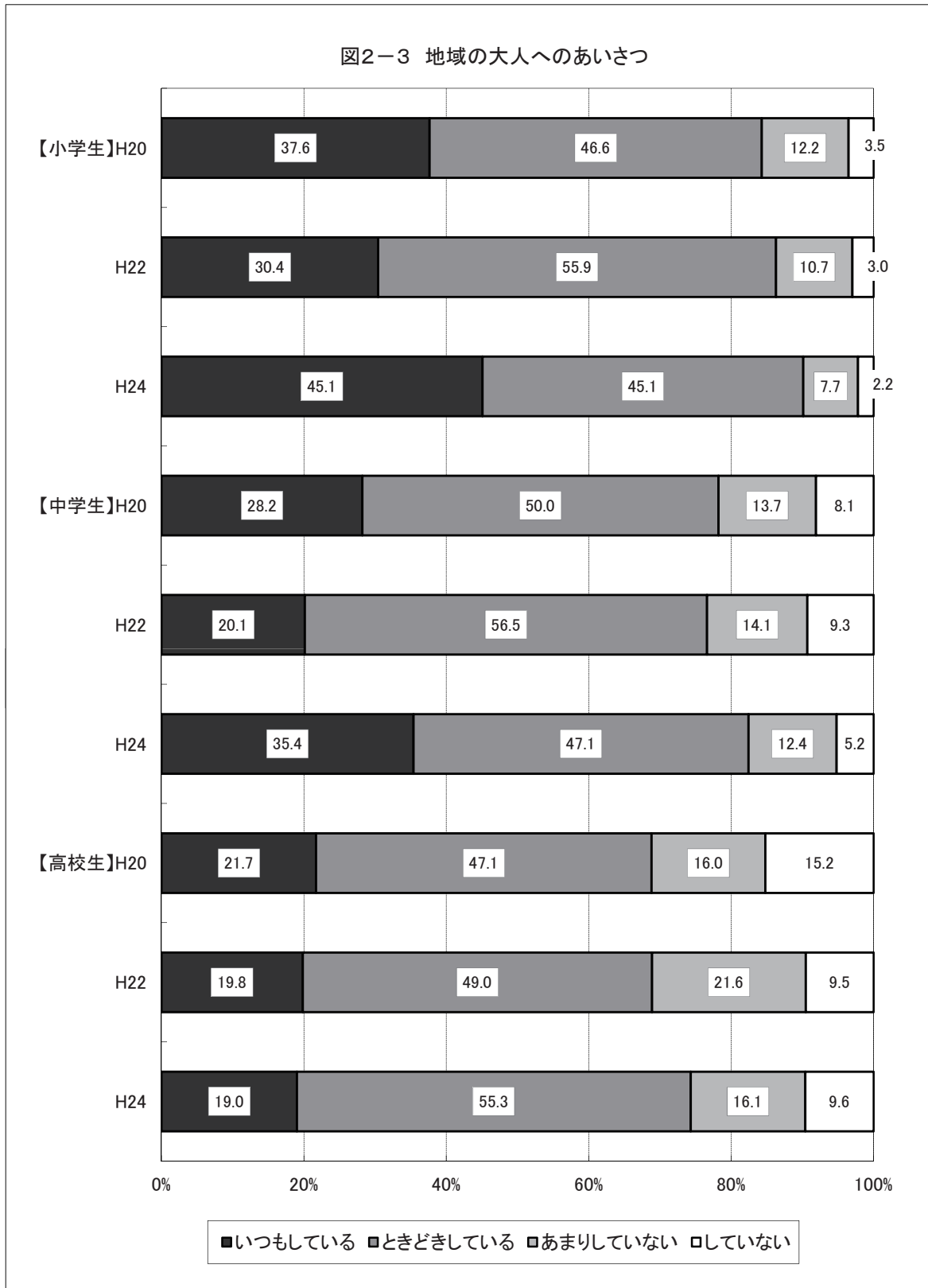
【属性別集計結果】

『している』を見てみると、小学生女子が91.8%で最も高い。また、小学生、中学生は女子のほうが男子よりも高いが、高校生は男女の差はあまり見られない。



【時系列比較(平成20年度・22年度調査と24年度調査との比較)】

『している』について、過去の調査と比較すると、小学生、中学生、高校生のいずれも、20年度、22年度調査よりもポイントが高くなっている。



< 地域の大人からのあいさつ >

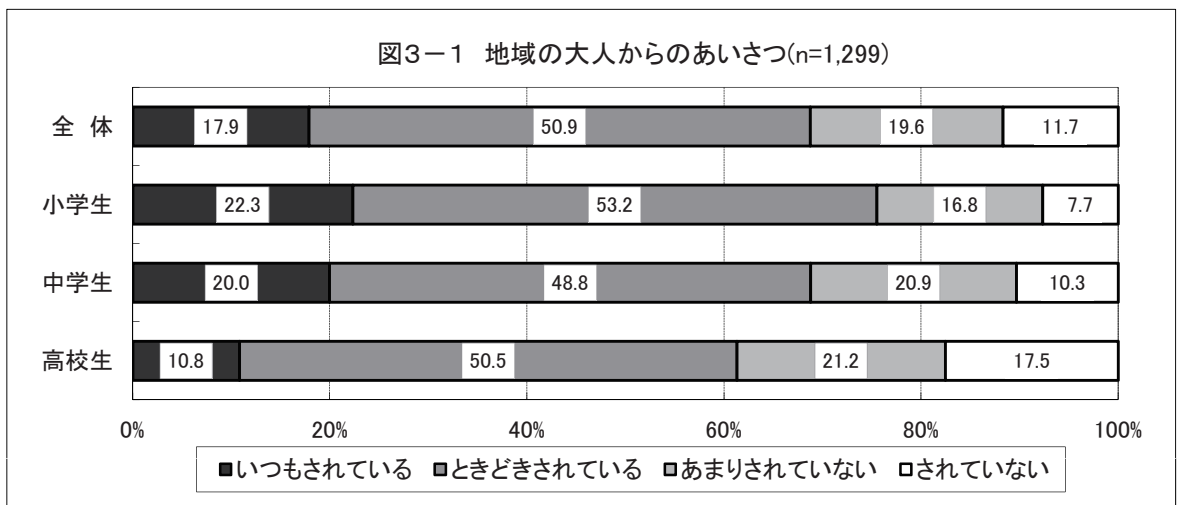
問3(2) あなたは、あなたが住んでいる地域の大人からあいさつをされていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

地域の大人からあいさつをされているかどうか尋ねたところ、「ときどきされている」が50.9%で最も高い。また、「いつもされている」と「ときどきされている」を合わせた『されている』は、68.8%となっている。

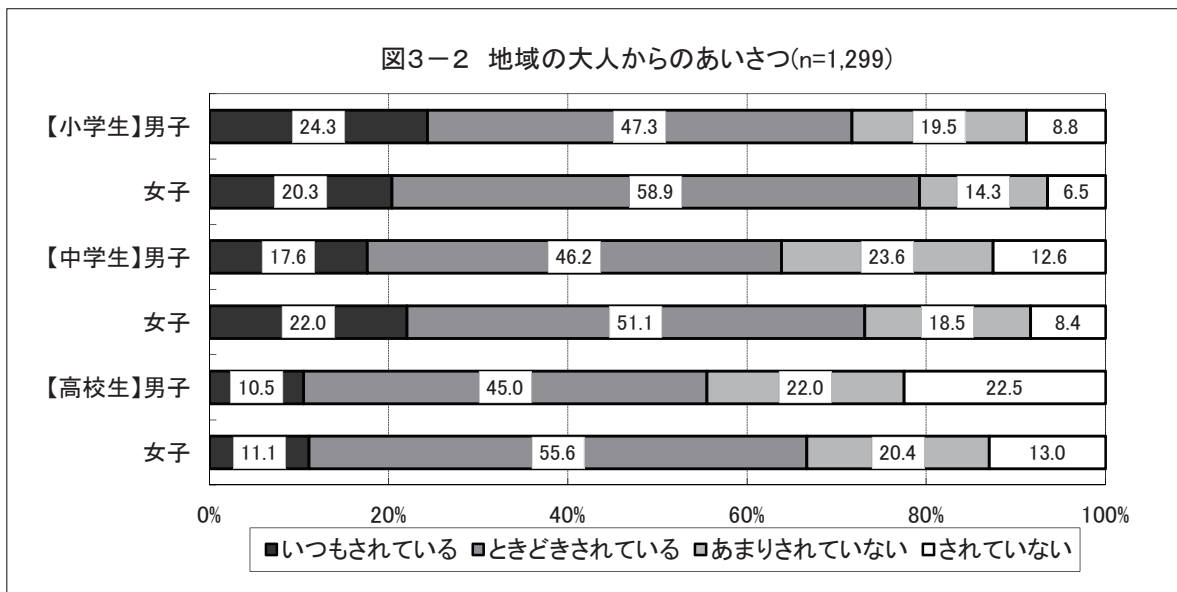
【学校種別集計結果】

『されている』を見てみると、小学生が75.5%で最も高く、以下、中学生(68.8%)、高校生(61.3%)となっている。



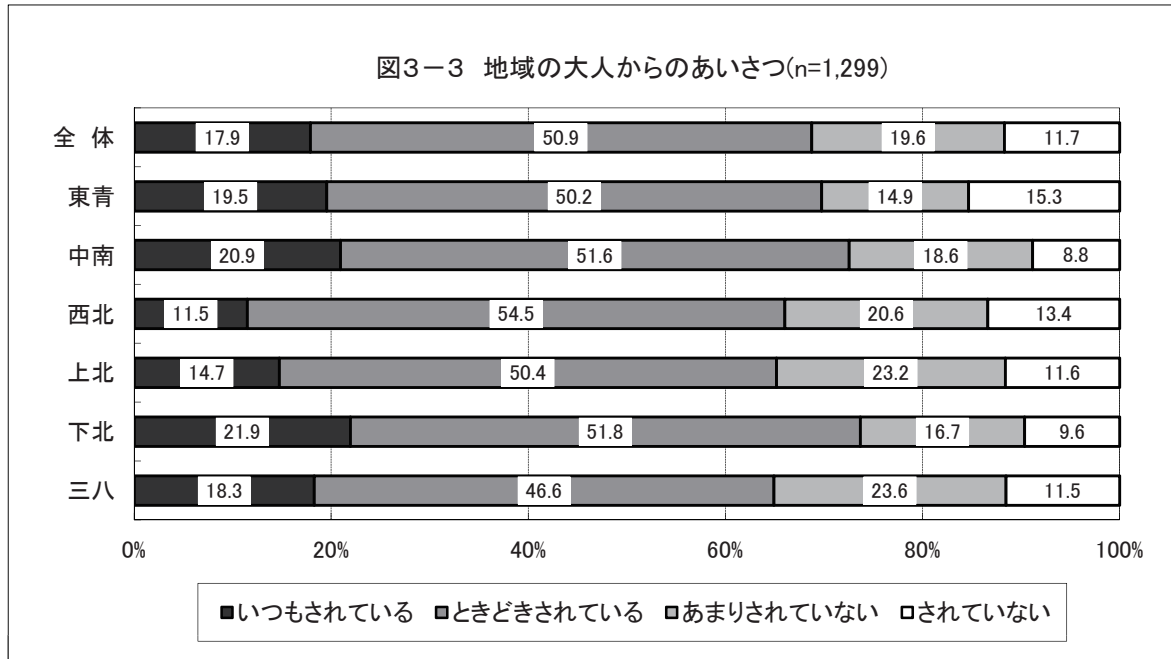
【属性別集計結果】

『されている』を見てみると、小学生女子が79.2%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりもポイントが高い。



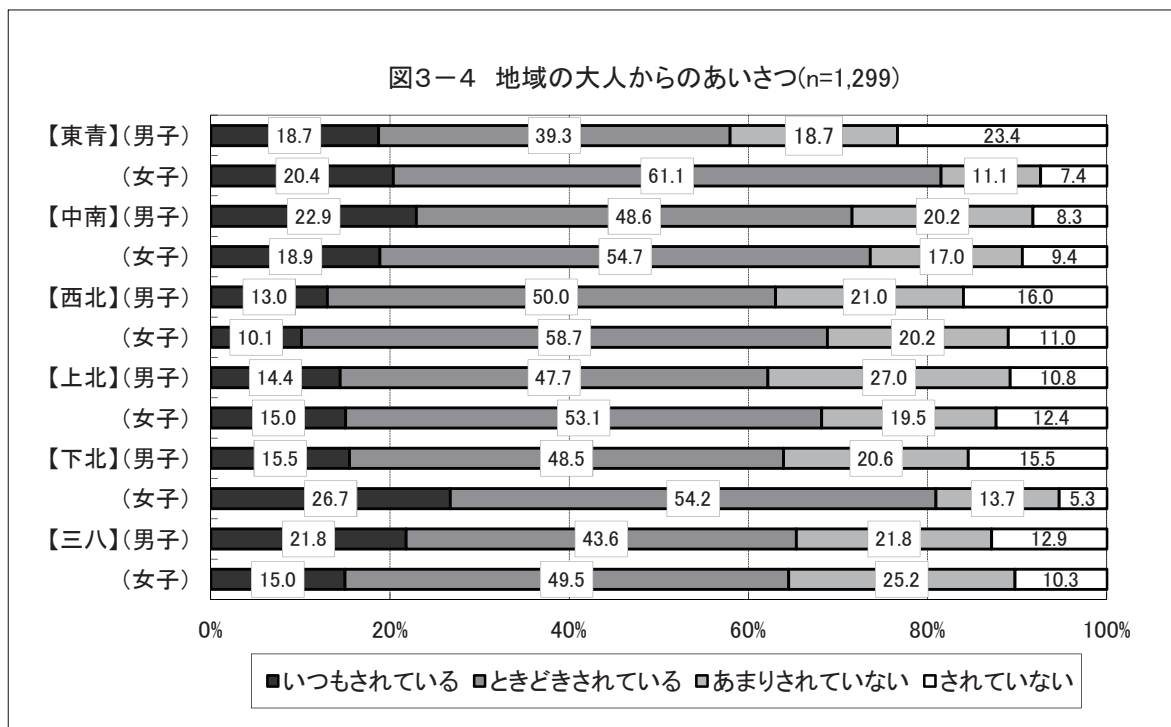
【地域種別集計結果】

『されている』を見てみると、下北地域が73.7%で最も高く、以下、中南地域(72.5%)、東青地域(69.7%)となっている。



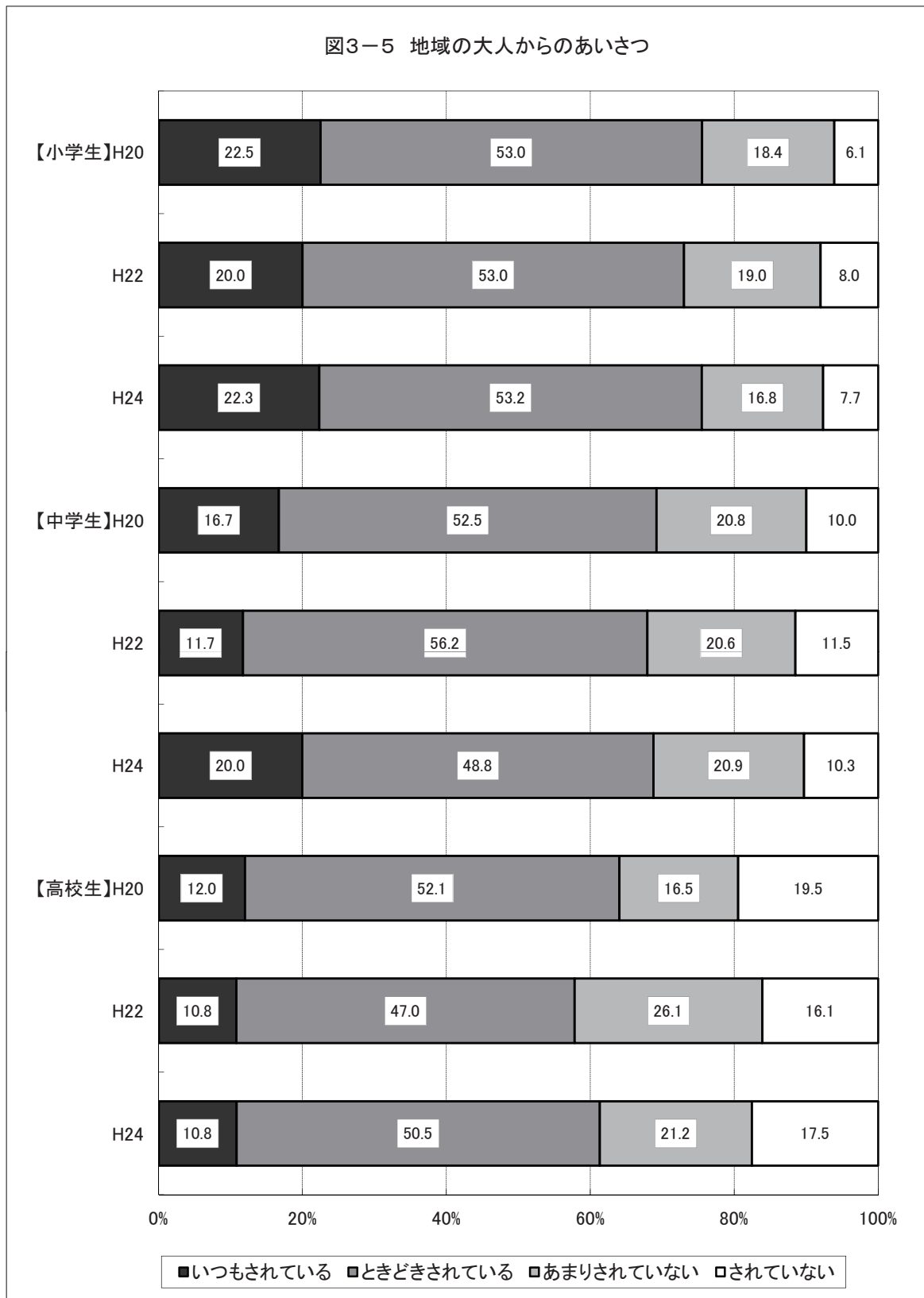
【属性別集計結果】

『されている』を見てみると、東青地域の女子が81.5%で最も高い。三八地域を除く5つの地域において、女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【時系列比較(平成20年度・22年度調査と24年度調査との比較)】

『されている』について、過去の調査と比較すると、小学生は、22年度よりも2.5ポイントの上昇、中学生は、0.9ポイントの上昇、高校生は、3.5ポイントの上昇となっている。



< 地域活動への参加 >

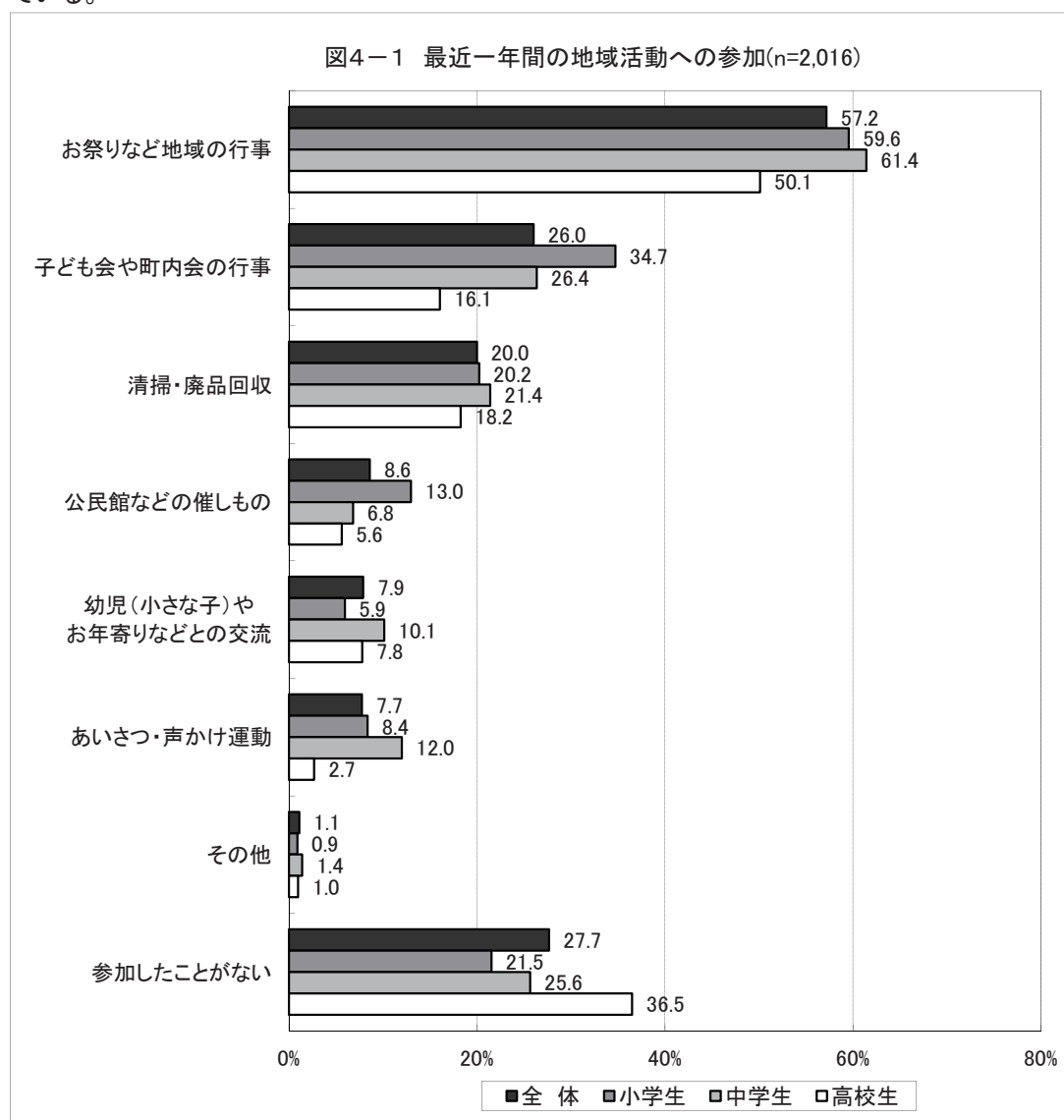
問4	あなたは、最近一年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。 あてはまるものをいくつでも選んでください。
----	--

【全体集計結果】

最近一年間で参加した地域活動について尋ねたところ、「お祭りなど地域の行事」が57.2%で最も高く、以下、「参加したことがない」(27.7%)、「子ども会や町内会の行事」(26.0%)などとなっている。

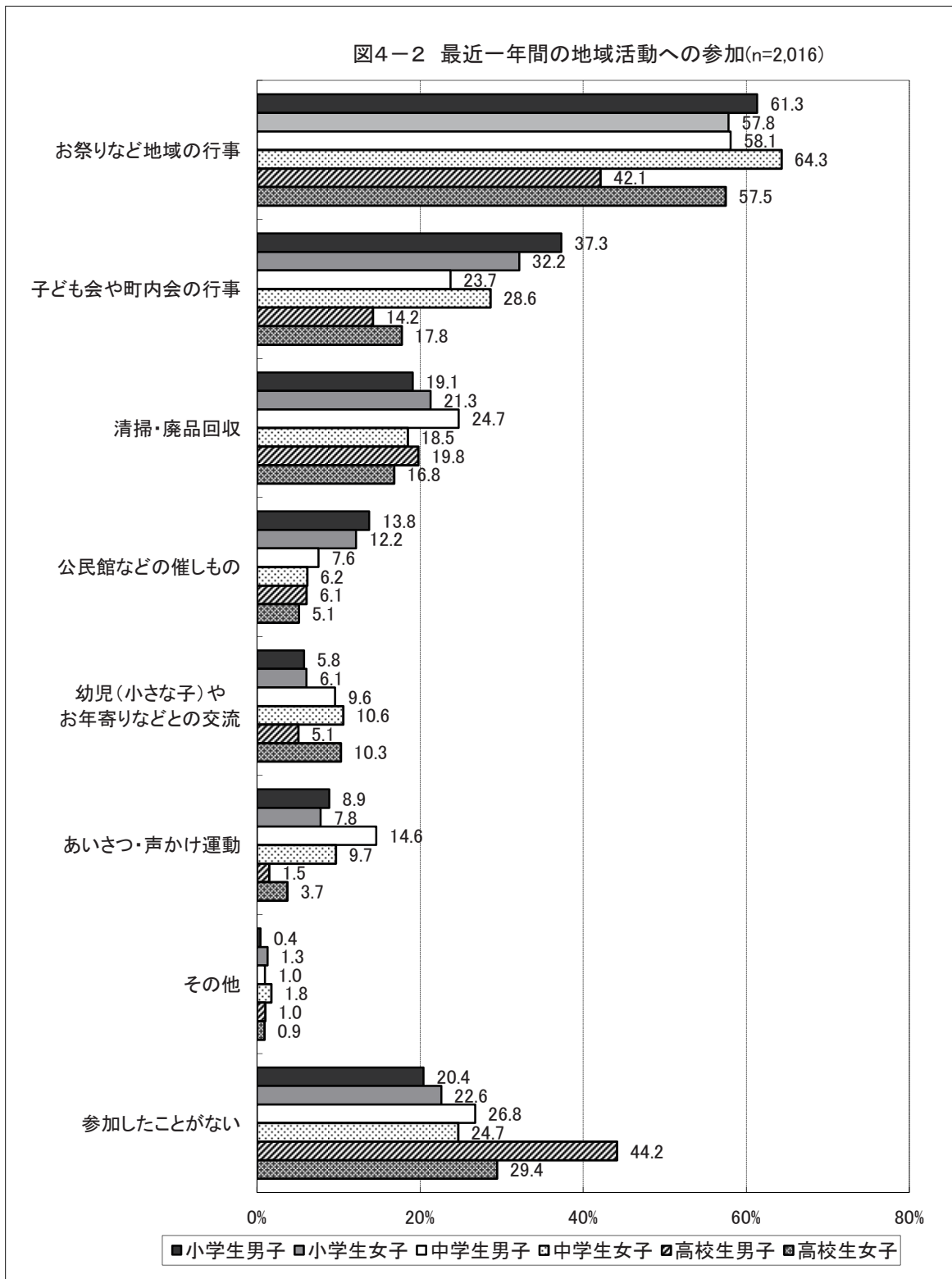
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「お祭りなど地域の行事」(小学生:59.6%、中学生:61.4%、高校生:50.1%)の割合が最も高い。次に割合が高いのは、「子ども会や町内会の行事」(小学生:34.7%、中学生:26.4%)、「参加したことがない」(高校生:36.5%)となっている。



【属性別集計結果】

小学生男女、中学生男女、高校生女子は、「お祭りなど地域の行事」(小学生男子:61.3%、小学生女子:57.8%、中学生男子:58.1%、中学生女子:64.3%、高校生女子:57.5%)の割合が最も高くなっている。高校生男子は「参加したことがない」(44.2%)の割合が最も高くなっている。



< ボランティア活動への参加 >

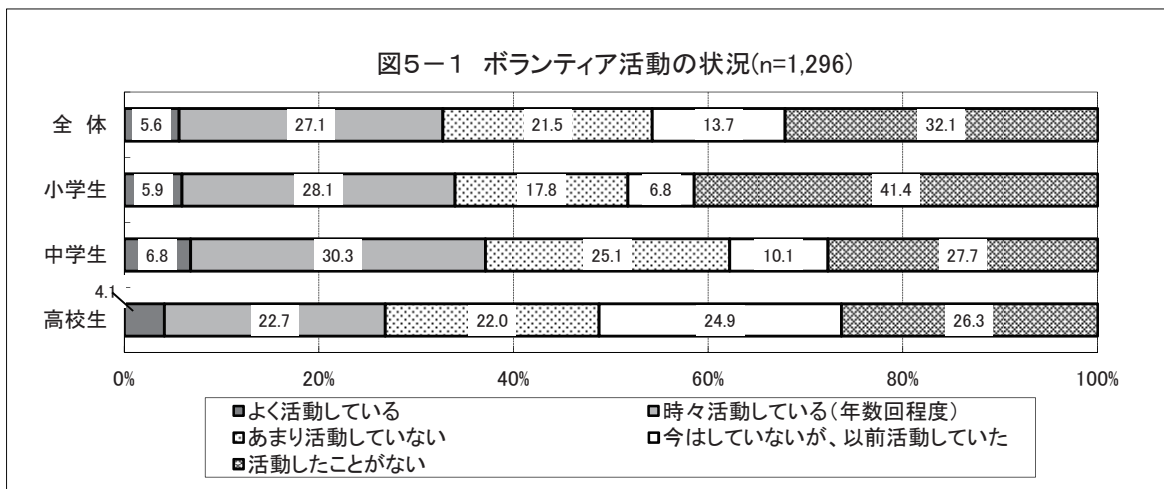
問5(1) あなたは、ボランティア活動(奉仕活動)をしていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

ボランティア活動をしているかどうか尋ねたところ、「活動したことがない」が32.1%で最も高い。「よく活動している」と「時々活動している」を合わせた『活動している』は32.7%となっている。

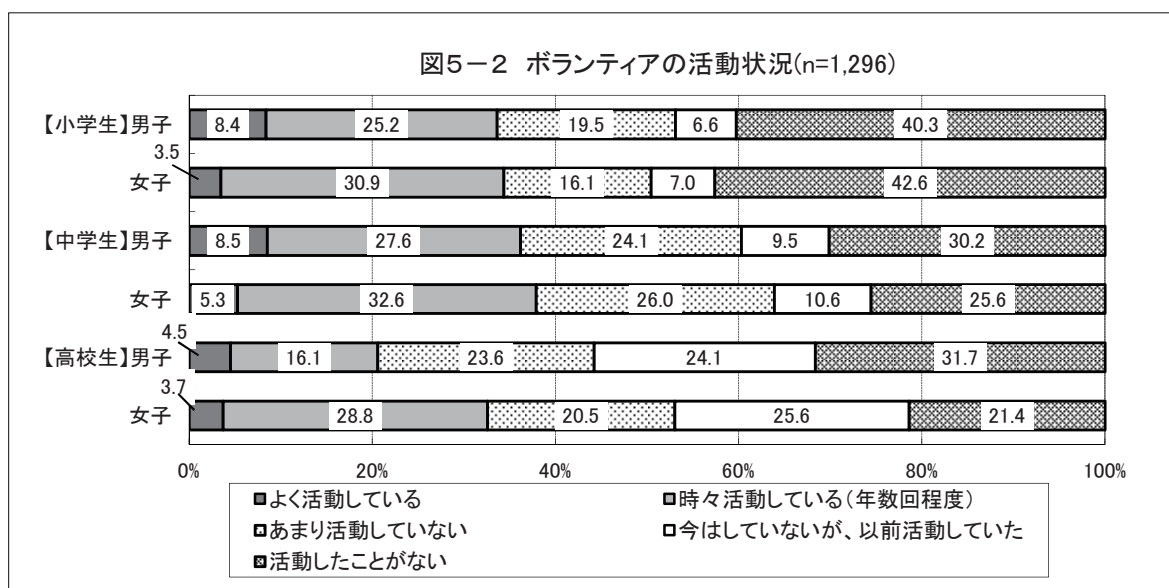
【学校種別集計結果】

『活動している』を見てみると、中学生が37.1%で最も高く、以下、小学生(34.0%)、高校生(26.8%)となっている。



【属性別集計結果】

『活動している』を見てみると、中学生女子が37.9%で最も高い。一方、「活動したことがない」を見てみると、小学生女子が42.6%で最も高く、次いで小学生男子が40.3%となっている。また、「活動したことがない」では、中学生、高校生では男子のほうが女子よりも高いが、小学生では、女子のほうが男子よりも高い。



< ボランティア活動をする理由 >

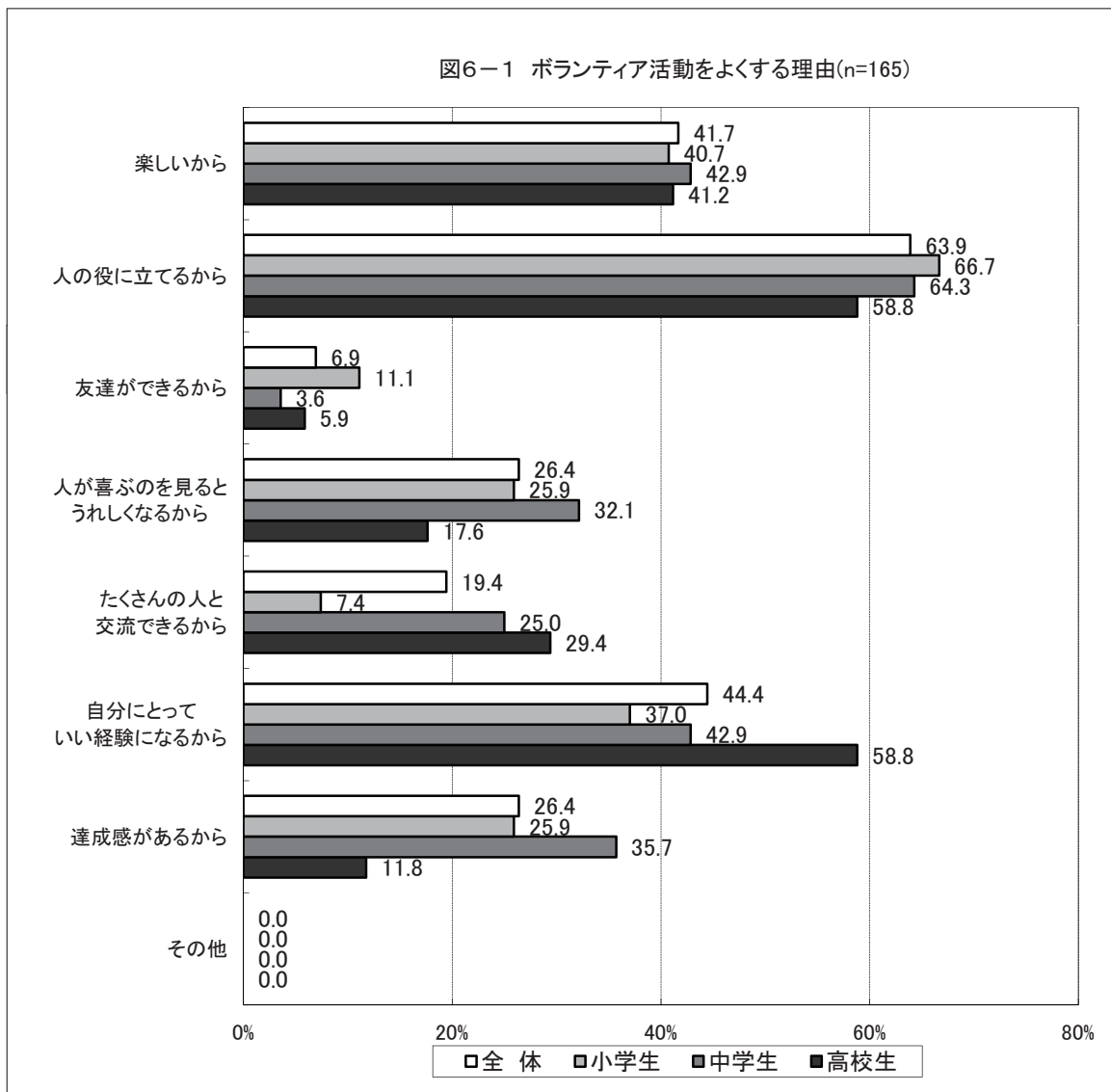
問5(2) 「1 よく活動している」を選んだ人だけお答えください。それはなぜですか。3つ以内で選んでください。

【全体集計結果】

ボランティア活動をよくする理由は何かを尋ねたところ、「人の役に立てるから」が63.9%で最も高く、以下「自分にとっていい経験になるから」(44.4%)、「楽しいから」(41.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では「人の役に立てるから」が66.7%で最も高く、以下「楽しいから」(40.7%)、「自分にとっていい経験になるから」(37.0%)などとなっている。
 中学生では「人の役に立てるから」が64.3%で最も高く、以下「自分にとっていい経験になるから」(42.9%)、「楽しいから」(41.2%)などとなっている。
 高校生では「自分にとっていい経験になるから」と「人の役に立てるから」が58.8%で最も高く、以下「楽しいから」(41.2%)などとなっている。



【地域別集計結果】

6地域でそれぞれ割合が最も高い項目は、以下のようになっている。

＜東青地域＞

「人の役に立てるから」(88.9%)

＜西北地域＞

「人の役に立てるから」(62.5%)

「自分にとっていい経験になるから」(62.5%)

＜下北地域＞

「人の役に立てるから」(58.3%)

「楽しいから」(50.0%)

「達成感があるから」(50.0%)

＜中南地域＞

「人の役に立てるから」(50.0%)

「自分にとっていい経験になるから」(50.0%)

＜中南地域＞

「たくさんの人と交流できるから」(83.3%)

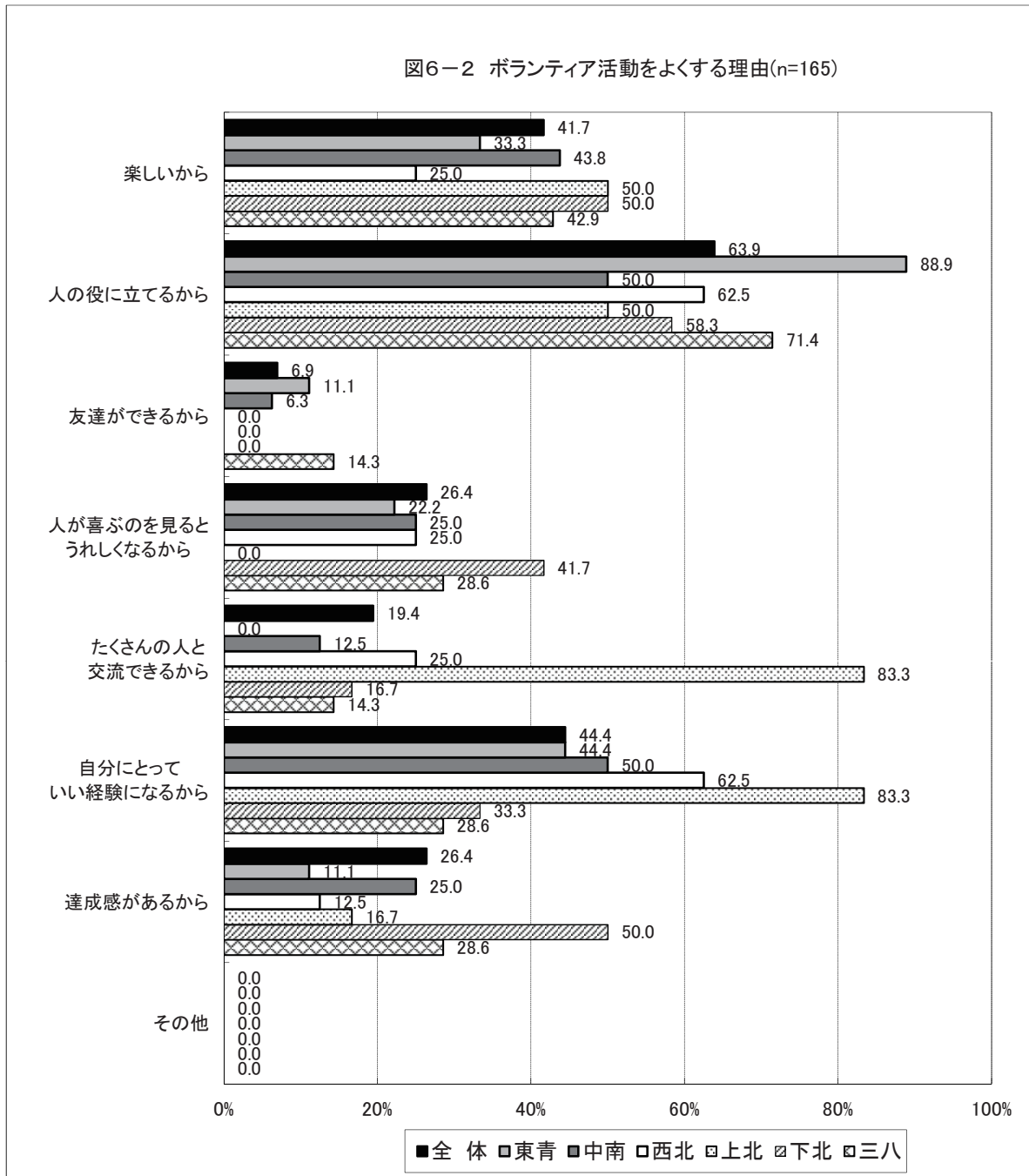
「自分にとっていい経験になるから」(83.3%)

＜三八地域＞

「人の役に立てるから」(71.4%)

「楽しいから」(42.9%)

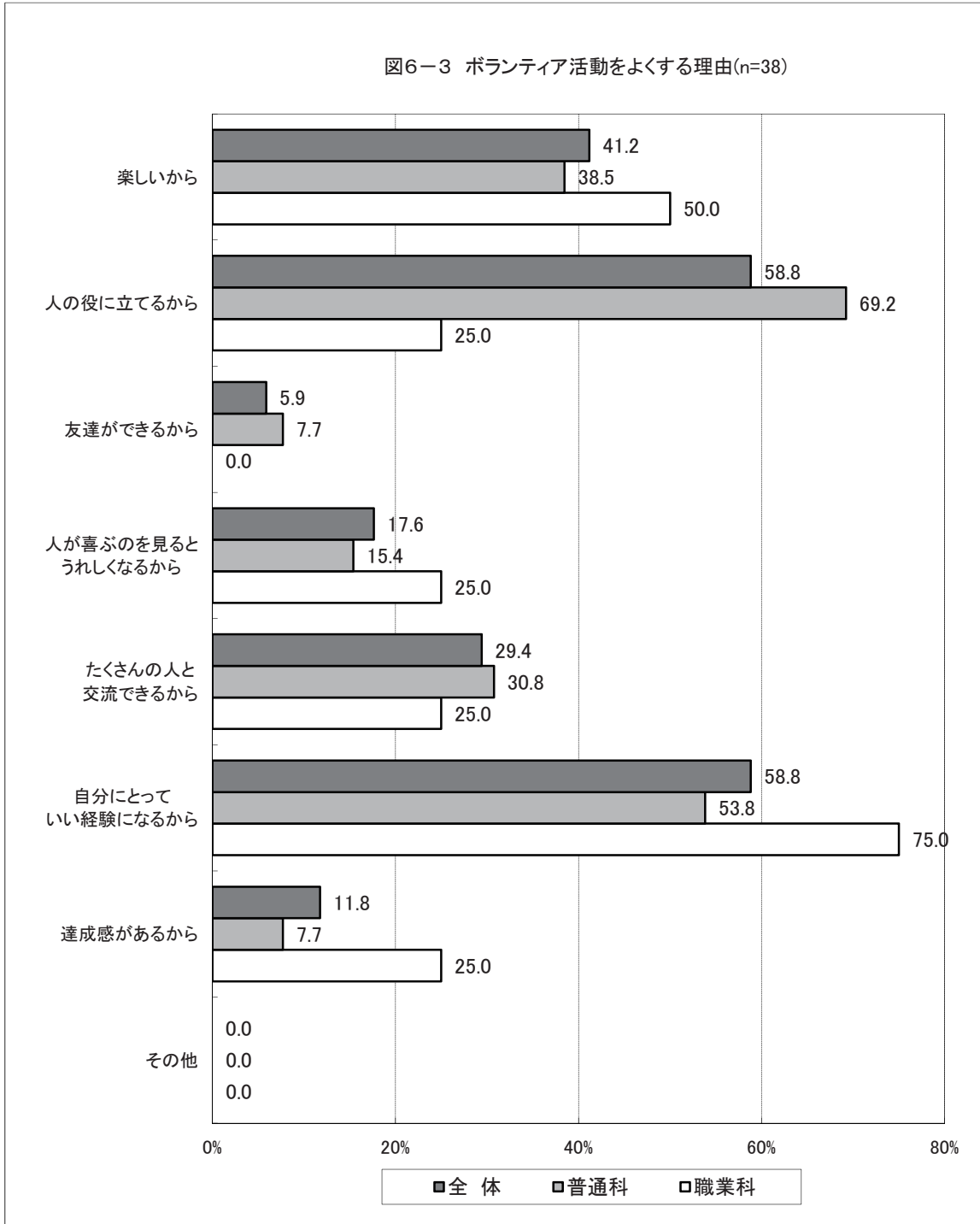
図6-2 ボランティア活動をよくする理由(n=165)



【学科別集計結果】

高校生のうち普通科生徒では「人の役に立てるから」が69.2%で最も高く、以下「自分にとっていい経験になるから」(53.8%)、「楽しいから」(38.5%)などとなっている。

職業科生徒では「自分にとっていい経験になるから」が75.0%で最も高く、以下「楽しいから」(50.0%)、「人の役に立てるから」「人が喜ぶのを見るとうれしくなるから」「たくさんの人と交流できるから」「達成感があるから」(25.0%)などとなっている。



<地域活動へ参加しない理由>

問6	問4で「8 参加したことがない」または問5(1)で「5 活動したことがない」を選んだ人にお答えください。それはなぜですか。3つ以内で選んでください。
----	--

【全体集計結果】

地域活動へ参加しない理由は何かを尋ねたところ、「活動の時間がない」が33.6%で最も高く、以下「特に理由はない」(32.7%)、「興味・関心がない」(27.4%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では「特に理由はない」が34.6%で最も高く、以下「活動の時間がない」(30.1%)、「活動の情報(チラシや情報誌など)がない」(28.6%)などとなっている。
 中学生では「活動の時間がない」が38.6%で最も高く、以下「興味・関心がない」(34.4%)、「活動の情報(チラシや情報誌など)がない」(27.4%)などとなっている。
 高校生では「特に理由はない」が36.1%で最も高く、以下「活動の時間がない」(32.9%)、「興味・関心がない」(27.8%)などとなっている。

